(東京國通) 寺内陵相は先

建きしか

肅軍の達成上

國政一新は不可避

陸相の積極的態度注目

一覇の不可避的なる所以を聞を説明し、粛軍の漢成上國政を説明し、粛軍の漢成上國政

本に向の如くで、陸相をある。 をおりがでは各方面の注目を表

日朝

日發調通

上村辰已氏轉任

小路駐獨大使

と を と を で の 外 交 上 と を で の 都 神 を 説 明 の 都 神 を 説 明 の 不 解 神 を 説 明 で る もの に して 支 那 の 主 欄 を 浸 して は 重 ね て 抗 議 せ ざ る を が ま で の 外 変 上 で 表 明 せ で る もの に し で 支 那 政 府 と し て は 重 ね て 抗 議 せ ざ る を が と で な 態 度 を 的 く 迄 継 が す る こ と を が に 表 明 す る る こ と を が に 表 明 す る る こ と を が に 表 明 す る る こ と を が に 表 明 す る る こ と を が に 表 明 す る る こ と を が に 表 明 す る る こ と を が に 表 明 す る る こ と を が に 表 明 す る る こ と を が に 表 明 す る こ と を が に 表 明 す る こ と を が に 表 明 す る る こ と を が に 表 明 す る る こ と を が に 表 明 す な る こ と を が に 表 明 す る こ と を が に 表 明 す る こ と を が に 表 明 す る こ と を が に ま い ま な に か に ま な に か に ま い に ま れ に ま い に ま れ に ま い

大統領就任 ルマンス首相 t

六〇〇圓減を示してゐる 五、九四〇〇 ▲ 高柳康一郎氏(陸軍少尉) 同 同 一古間文太郎(率天省事務官)十二日午後來京

四品村五十美

でお定食

水の葉井

三十美

▲ 漢田瀬一氏(・高融) 同へルビンへ ・ 東島三郎氏(抗空兵)同へルビンへ ・ 東場市郎氏(同少樹)同一東京新京ホテル ・ 東田庄太郎氏(同)樹)同一東京新京ホテル ▲ 南橋龍太郎氏 (大日本ビール重役) 同本所野務大氏 (三菱社員) 同 ▲藤原照貴氏(統金會社員)同局 ▲富田粗氏(滿鏡)周大連へ 野重吉氏(精米業)同奉

確定委員會の

南京政府第二抗議を提出 南京政府第二抗議を提出 南京政府外交 を表示を表示を 一次抗議を はなさものと認む、即ち引 日登園通り、業後 由なきものと認む、即ち引 開きれた東國十三年の奉儒 になるものに非ず、貴國は奉 では、即ち引 はなるものに非ず、貴國は奉 では、即ち引 になるとなな になるとなる。 になるとなる。 になるとのに非ず、貴國は本 になるとなる。 になる。 にな。 になる。 になる。 になる。 になる。 になな。 になる。 になる。 になる。 になな。 になる。 にな



商業條約、北樺太石油協定の と見られてゐる。よつて日ソ と見られてゐる。よつて日ソ

及兵力、裝備、行動等を通報カ事件に對する日滿軍の狀況

徳等に命じ

蒐集 ナニョカラボド

於ては日ソ兩國間に到底解決ソ政策は少くも質質的問題に 積極化を 外務當局深甚な者

大人日生 改造の意画を有 改造の意画を有

に於て數回に亘り會合を遂げ明し議同協力を求め爾來同所

傀儡國建設 ム首相の意圖 ●郵便貯金 郵便貯金は四、七七四件金額 一三月中 四、七七四件金額 一二八、○○○回 金額である 減なれど途額に於て一萬圓增 先月に比較する 較すれば三、六八九金額−○圓で之を二月中のものと ○圓で四九○件二萬圓 17、0000

重役)同 ●麻布重幸氏(稿光ビール) ▲川村喜一氏(大日本ピール)

入前五十 獨茶漬 卷稿干麦 まらり三十美

日三

カ事件惹起後は活潑なる活動をなし同事件に對する日滿軍の狀況及兵力。 省公署内に於て傳達室秘密會議なるものを組織し数回に亘り親族姻族、股版の部下を集め して同會議に列席 十二月に於る滿蒙國境紛爭事件より就中本年二月中旬オラホド L 即が満洲里會議に際し一味の首領たる凌陸は首席代表と たるを好機とし を得 るごとに日満軍の國境警備の企圖を事前にソ蒙 外震代表等と適絡し實行運動の協定をなすに至り其後

へ日滿軍に多數の犠牲者を出さし 關東軍發表一與安北省 同省公場警務廳長 めた

沙德爾圖二十六才 齡四十七才

軍に

興 泰二十七才ン 動し適當な處置に出る決意を有してゐる 策によること明瞭で取調べの結果によつ 東安北省長稜壁以下顯官の遊り事件につ

7

聯の使嗾による

反滿離間 のである、偽ほチリー大統領 アルツロ・アレスサンド・リ バルマ氏も招請應諾の阿答に 高せて、汎米関際職係調整に

表方はこれに一般の反痛離間 雅慶の三大理想を除べた事判 を割するものと観られてゐる 一、輝落的武裝一、輝落的武裝

同配浦數一八 三月月

一七九件金額は一七、○○○ の名替拂出に於いては三月中四

中央郵便局業績

海京入船町四丁目一番地 要應語小徹底,沒晉子教授致依 每日口遠嗣演以會話速成9目的人 一次、課語每月二四 一次、課語每月二四 一次、課語每月二四 一次、課語每月二四 森本アバー 電話 (3) 三條橋角 ス補洲語ハ北京官話 名募集)

男女學生大募集

面如其 清》用题信社 第2·4620 图案

籍整理 土地主務者會議 題等今後日ソ嗣國の間に交渉政司問題並に國境委員設置問 せられるべき

長吉廷工門

地

大々あつた(寛物魔長口演あり物魔長口演あり

つてゐる全國各地關係官を整理局では直接事業の衝に

方それ等の交渉と並行して耐 力高観點は自ら異るべく、他 方を観點は自ら異るべく、他

汎米會議招請に 共和國大統領 兩國應諾 ン十日後國通

味六名軍法會議に附さる

日満の犠牲甚ら

ジュ・ウピョ料軍はル米大統 間の汎米會議招略派に對し十 日受謀回答をが選え、でしたが 同同答に於てウピョ大統領は 事議を要請した、右汎米相互 接助機構案はモンロー丸とする 接助機構案はモンロー丸とする を目的とする一般的連帶相互 を目的とする一般的連帶相互 を目的とする一般的連帶相互 を目的とする一般的連帶相互 を目的とする一般的連帶相互

學校で行はれた民政部の各縣經理官採用試験 經理官採用試驗

市 (本語) 市場流針 (市場流針 で 会画 関を 管附した 事往來

帝の度を加へるに従って北支 帝の度を加へるに従って北支 に脱する諸数の基礎調査を行 ふことは満洲棉作上より見る も頗る肝要且有意義であるの で棉花協會では近く大々的に 北支棉花の適地、 製凶調査を 会の列車で断任した。 対田所長は十三日午前入時五十 田所長は十三日午前入時五十 國防献金 室町一丁目

棉花協會で

北支棉花調查

施に至る迄在任する筈である が大統領に献任した、ウルマ ンス新大統領は敢任憲法の場 が大統領に献任した、ウルマ ンス新大統領は改正憲法の場 宫澤部長等來京

總海魔調査料に入つた



新京中學四年生

北支旅行通信(七)

粗界についての智

天津四年一般 佐藤 敏夫

社に崇拜する。遠い異郷にあ

めださらだ。其中に大

観けてゐたが漸く一人前に離 新京に來てすみれでお稽古を のとき生れ故郷の親元離れて

た、當日は絶好の天候に惠ま の 別市主催の小八家子見學は十 の 二日の日曜を期して舉行され 温

の日は丁度復活祭とて全村國 過ぎ小八家子に到着した、こ 過ぎ小八家子に到着した、こ

ので追跡逮捕取調べると吉林 しており人相が十日午後九時前刑事が臨檢中舉動不審の滿 劉重中(四〇)で懷中に現金五周路阿片小寶所を極京署財 牌十四番元補洲國際祭署警士十二日午後四時三十分ごろ東 省生れ吉林省西陽山廟胡同門

浦二十六番地、

宗教村

國旗を揚げ大歡迎

ル)=假名=は十六十

仮女は『私はこの通り

孝宮さま 學習院へ御入學

姉宮照宮さま御同道女子學習院前期一年に目出度御入學遊ばされた八宮眞は第三温女澤宮和子内魏王さまにば今年を以て御譽麟に達せられたので八日御 異竹寮御出ましの孝宮さま

を博し盆々隆盛を辿りつつあ

殿格にして懇切なる師の指

で教談七時半頃處會種に微會を教践との決勝があり違い

品の授與あり解散した

賣期日公告

るが、之等門第に對する華季

▲本野仁治氏赴任、午后六時

務者會職第二日、軍

(十四四)

今晩の主なる演繹放送

町醫院

弟來賓多數列席の上同道

語奉職より型の如く進行少年棚に於て擧行された、國敵勅

二八名の選級に青年部よ

本七・○○ラデォドラマ「結 ・東京)▲溴花節「直操」(お ・一代の場合)(大阪)酒井製 ・一八・○○花めぐり「志賀の 一根」・京都滋賀縣坂本日吉神 を関うした。

河野省二

久場長章

鄉関之助



昨日昇段式

場所は新京特別市商會、時財政部發行第二十五回編民

惨点が聞かれず

東に勝る旅費を強要した場面 のと判明したが犯人はいづれ のと契明したが犯人はいづれ

於て催され

格署に急報したので同署から 路署に急報したので同署から 路署に急報したので同署から

新京署の

開き

新京南滿洲鐵道附屬地梅ヶ披 町一丁目十二番地,二 屯地 三百六十平方米所在 一、煉瓦造鐵板拿二階建一棟 一大樓 三百六十平方米所在

たのに戸籍面では既に死亡 んるる證據

方に働いてゐることになって 度い』と千代子の寫實同者でれ、 意外な依賴が無込んだ、新京 署では早速十三日午前十時千 代子及び顧主を呼び出し右の 大大後賴が無込んだ、新京 本情、名と千代 それば何かの間遠ひでせり それば何かの間遠ひでせり と泣き伏した、千代子さんの 度変は大槻字三郎(五〇)度 度変は大槻字三郎(五〇)度 り月毎には通信もしてあるの にこの不吉な戸籍抹消は果し できりした手違ひから生じた

部人街の復活祭 十二、十三日は羅馬獲数の復 は一齊に休業し教會では莊厳 なる儀式が行はれ夜は率説が ンスなどの餘吨に打ち興じて すことは既に過般の打合せ

すみれの千代子裙

時薪京發列車で大通經由日本 五十三名は來る廿三日午後四 五十三名は來る廿三日午後四 行政視察團 刻は午前九時からである。 彩票あす抽籤

議に於て決定、これが實行委 員會に十五日午後一時から新 員會にて具體的業の決定を見 ること」なつた

が左頭部を を を 対 は 所 管 内 東

見山司令官

今朝元氣で着任

都等主要都市を始め各地を約察團は東京、大阪、名古屋、京 に向ふこととなったが、 右観時新京磯列車で大通經由日本

来る二十九日天長節奉祝の一具、體、案協議

ること」なった、瞬節は内務
於て社會事業講習會を開催す 市役所共催にて十三日から、
記念事業として協會及び大連 滿洲社會事業協會創立五週年 社會事業講習會

軍用小 八持寄り會

門 ごろ説町四丁目八番地季館大 特はも道求すると選に包み切れ でなってあるにも拘らず城内 の各阿片小饗所にいたり自分 の各阿片小饗所にいたり自分

等は西藤氏

招魂祭打ち合せ會職は十五日

招魂祭打合せ

十三日午後三時四十分清列車で京演線から職病後者の遺骨三十三世、同三時世七分清列車で京劇線から同遺骨三十三世、同三時世七分清列車で京劇線から同遺骨三十分議列車で率天へ送られる博

明朝遺骨凱旋

金人時三十八分 金人時三十七分

●理料 新した 九

金三圓

友人總代

山 丸藤山澤野野 源 助三八 宮 卯 寺 五 太代十宮兵末武 郎 郎治八人衛治雄

對法政二回戰

5A-2

「東京國通」 東京國通」 東京國通」

煮 班 拾 貫

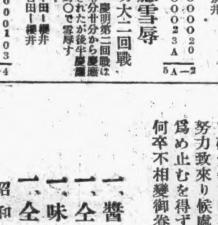
萱樽 二

壹樽二付



在職を装ひ阿片屋を渡る

對明大二回戰



何卒不相變御眷顧に預り度奉懇願候努力致來り候處其後一向値下りの模樣も無之斯くては到底不引合と相成候努力致來り候處其後一向値下りの模樣も無之斯くては到底不引合と相成候好解米等は昨年秋頃より漸騰し來り候へ共可相成舊値段を以て販賣せんと拜啓 愈御清穆奉賀上候陳者御承知の通り醬油味噌の主要原料たる大豆及

四斗五升詰 升 壹樽二付 壹樽二付 金 壹 圖 也 也 金 壹 圖 五 拾 錢 也

年四月 四 H 洲連田天豫

新京居住者に限る

arlsberg (女給入用) 生ピー ルスベルグ

新京ダイヤ街二丁目 9172

御望ミノ方ハ電話でお一九五

結 地方でも御引き野町市場の 炊事 崩 品

新京日本橋通九二 一、面會期日 四月十四日午後一時 ヨリ五時迄 ヨリ五時迄

(3) 六六間周五九書

興安大路五○七 (大通5南向)

◆希望者へ履腰書送付アレ(両會日へ追而適知ス) ◆地方駐在随意 織嶺、関原、四平町、白紋子、公主嶺 吉林、敦化、牡丹江 吉林、敦化、牡丹江 吉林、敦化、牡丹江 古林、敦化、牡丹江

中央通四二

一生命新京支部

却土地ア

ル年中無休

滿洲結核豫防會新京健康相

江戸の春遠山櫻ム



美味と親切

板場新聘

海外映畵短信川

人 健賞を欠き鬼角と姿が吉

帝都あすから 名書週間

審議會制度



二日五十・四十IT.HAPPENED ONE NIGHT! 間週會大畵漫:映再の畵名

强設 度計

計監算督

建築事務所

打直しなさぬきや製綿所

祝町二丁目二番地

和学文書の

丁一町野

畵映演共の初最ルーベルコ●トツデーロクルブーゲ●クーラク

山紫山田山山山山 記念公會堂

一圓五拾錢

古木德三郎

華麗優婉の大調節

一山 競 賣 所一山 競 賣 所 本 電 話 下 さい お 電 話 下 さい

いませ

設場 家間

溫水式煖房、水洗式便所、浴漕、

新發屯清和街

東亞 與業株 墨一枚當り二圓八十錢 三種

東 出 張 所業株式會社

二圓三圓

全商品 等數 外 套 學 外 套 春夏織物豊富 十日より 記念大賣出

一割。五割引

布 三六通橋本日京新

後六時より開演まで 響曲 劇場御待券はお斷り申上勝手乍ら從來發行の農樂 クター四月新譜新世界

四日(火曜日) 午後七時開演 午後六時開場 し下さ

◎會員券 をめ へど疾 惠ま 局の つどころ つ華それら にみる美

た IJ 全日本を擧げ 信

煉瓦工業の将來

ij

東他本選測、緊順等にも産出 であるが主なる産地は第一

五)斯

京

橋國次郎奇

日祝債電滿二權

現在滿洲の耐火煉瓦工場は 選工場にして昭和製鐵所、本 選工場があるが、耐火煉瓦 工業は將來の滿洲工業界に最 工業は將來の滿洲工業界に最

情に有談するのである。 根に高級セメント同様の力を をの高級セメント同様の力を をの高級セメント同様の力を をい所には甚だ適當である。現 の性質は、温度著しく高く短 がに高級アント同様の力を をい所には甚だ適當である。現 のである。

(B

日より實施されるが右實施を「奉天國通」縣案の滿支貨物の直通輸送は愈々來る五月一

満支貨物直通の

・ 関助、次官の策動奏效す

「東京國連」十一日確實なる 防次官トハチエフスキー元帥 大面に達した報告によれば佛 の策動效を奏したるものであ かった数で特徴軍常長の大型 のため寧日なき實清を最も端 からが右は本年一月以來バリ に終て佛國軍常局との間に軍 の注目を遭いてるる として多大 に終て佛國軍常局との間に軍 の注目を遭いてるる

出来七七七 五二二 五〇五

海外經濟電報

濠洲から緬羊 北農村に

資本主義修正論

連絡打合會を開催する事とな 連絡打合會を開催する事とな

決定工事

土建ニュース

産業國策の樹立

(四)

明瞭を缺 法規化する産業 業統制(二)

現状通りの一業一社主義と 地外国産業・・ 近く公布さるべき であるらしい。 電防軍要産業については 大橋 関係 であるらしい。

て、國營及び公營による事業 許可又は認可事業、自由事業 化するに至つたゝめに、各種 化するに至つたゝめに、各種 化するに至つたゝめに、各種 動企業の限界を明確ならしめ しつて益々日本資本の投下に 関稿を見たから、日本當局と の折衝を退げた、上七月頃發 布される腹様であるといふの は、滿洲関の産業関策樹立の ためにも、また日滿經濟ブロ ツク强化のためにも、まこと に喜ばしきことであるといは

一、右統制を ・ 右統制を ・ 右統制を ・ 大方統制を ・ 大方の ・ 大

兴兴·物学[[]][]][]

休標金

(3) 3

を表示 引煙 三六

十四日限

イチグレコー 日よ ún キネ b

拾田 生日 大間

陽春の砌り皆樣益々御清勝の事と拜し御同慶申 上げます。就而は當羽衣タクシー部は國都の發達 に伴ひ。益々必要を感じる自動車の利用に鑑み今 度米國製。高級新車36年型 購入し。「迅速・確實・安全」をモット 御用命に應し皆樣のタクシーとして ります・何卒御後援御利用の程を



月七

政友會の新テー

組合銀行の貸出 新京組合銀行の賃金貸出版況 新京組合銀行の預金貸出版況 を見るに春期到來と共に俄然 活氣を呈して來たが三月中の 成績は左の如くである(括孤 は前月對此)

本部では庶政更始ー に歩いた。 をこしらへあげたが、そ 派遣、 をこしらへあげたが、そ 派遣、 ををこしらへあげたが、そ 派遣、 を経済の革新」と照され であららか が を経済の革新」と照され であららか が を経済の事が と照され であららか が を経済の事が と照され であららか が ををこしらへあげたが、そ 派遣、 を担合利の機底 和 日正午横濱入港の三井物産明 になつま. は 日本る つたので各産地に畜産技師を 迄には更に横々到着の後定な 成か、そ 派遣、本年も引続き四千二百 ので福島、宮城、山形、青森、 は のと正 頭を輸入することになり十一 秋田の番縣に夫々則當てる事 成 のと正 頭を輸入することになり十一 秋田の番縣に夫々則當てる事 成 のと正 頭を輸入することになり十一 秋田の番縣に夫々則當てる事 成

兵農雨全政策の實現」と掲げてゐる、更に第三項 事業の

擴充に件ひ

、関防の製作 ・ 土地側度の改革 ・ 土地側度の改革 ・ 土地側度の改革 ・ 土地側度の改革 ・ 土地側度の改革 値ひするものを含んである上の如く題目としては注意上の如く題目としては注意

滿洲棉花協會 新京に移轉假事務所設置 ツ聯軍需品購入 賃 預 票

ヂクソ

取らかな春光破る低以つて軍器を買い スに互額のクレギ

ある

満ソ國境確定委員會

年中に成立

現地調査完了

は昭和十五年

注目されるに至つた、總督と のに就では政界方面より顔る のに就では政界方面より顔る

決定せず

兩廣財務當局

大洋建實施

陸化する事となった、即ち陳 「大の南京訪問によって愈々具 ところ這般兩度鹽運使陳維周 ところ這般兩度鹽運使陳維周 ところ這般兩度鹽運使陳維周 ところ這般兩度鹽運使陳維周 ところ這般兩度鹽運使陳維周 ところ這般兩度鹽運使陳維周

大阪 南省及び財界要人が参集第一 る 「具 致し來る二十日頃廣東、廣西 幣で現銀引渡しを強調してる の 中央との折衝順末を報告 する豫定である、倚財政應及 の 中央との間に若干相違あるも 直接取組みの資金を充實すべ ・ で銀行は幣間改革と對外爲替 ・ で現銀り渡しを強調してる の 下の 中央との折衝順末を報告 する豫定である、倚財政應及 の で現銀引渡しを強調してる の 下の 中央との折衝順末を報告 する豫定である、倚財政應及 の 下の 中央との折衝順末を報告 する豫定である、倚財政應及 の 下の 中央との折衝順末を報告 する豫定である、倚財政應及 の 下の 中央との折衝順末を報告 する豫定である。 の 下現銀引渡しを強調してる の 下の 中央との折衝順末を報告 する豫定である。 の 下現銀引渡しを強調してる の 下現の 下現の の 下れの の 下れ

十分にしてこれを撃退したが、この戰闘に於いて日本軍三名戰死した模樣で北方滿領内を巡視中突如ソ聯ソスノワヤバジ國境監視哨でり發砲、交戰約二當地に達した情報によれば去る九日午後二時半日滿軍がラススイブナヤバジ

約三十

間之に

戰

行せり、詳細取調べ中 響を受けたるを以て之に應戰し約三十分間交戰し附近滿軍より之が增援に急領中洲(去る十日にも滿人拉致さる)に到りたるときソ聯兵四、五十名より射領中洲(去る十日にも滿人拉致さる)に到りたるときソ聯兵四、五十名より射領中洲(まる十日にも滿人拉致さる)に到りたるときソ聯兵四、五十名より射領中洲(まる)の第二十十四年前九時頃坂口中尉の指揮する巡察部隊

全関塩線の調査を完了するまでには約三ケ年を要するもの とみられ、満ソ関境の明朗化 は結局昭和十五年ごろに現實 されることゝならう

なる政策は殆ど實施し盡した なる政策は殆ど實施し盡した。 望があれば進んで辭任したき 望があれば進んで辭任したき 望があれば進んで辭任したき が同に依つて決定される譯で

であるとの意見も行はれ未だ が、との會見でも進退問題に関し との會見でも進退問題に関し との會見でも進退問題に関し との會見でも進退問題に関し

るる は責任し六月再度上京すると は費任し六月再度上京すると は養想された如き急轉回はな いのではないかと見られて居

浮び上る

外務省栗

山條約局長

ラススイプナヤ

監視兵の暴行

日本軍二名戰死

【東京園通】過数の衆議院 遺迹とめて注目を高いた川口 養久氏の選擧事務長山本群連 土は選擧と選及の嫌疑で十一 日東京市四谷風の變懸病院に 大院中の子息の見舞に行つた ところを張込中の神奈川縣第二菌か ところを張込中の神奈川縣第二菌か ところを張込中の神奈川縣第二菌か をれぬものと見られ同氏が失格は 地域数が當選する事となるので を方面から注目されてるるので



吉川商會 样中 板 翼東政府の修

十三日

出發す

炒事使

十四日山 海關で第一聲を發表

積極外交徹底

の爲め

虎林南方の巡察部隊

聯兵の不法射撃相次

("

となり、正使は秘書長池宗思氏の饗東自治政府では隣國疏氏の饗東自治政府では隣國疏 副使は保安處長劉宋紀、實東一事となつたとなり、正使は秘書長池宗墨|揃ひを終つ 満ひを終っ 三日孫州が

松つて十四日入補するがを出設、山海陽に勢 て一行十名は十

特として外務省人事機構の刷 加へつよあるが、特に注目す が満充に関し目下慎重考慮を がなは往時の政務局復案であ 政務局復活か

一世線合的にせんとするもの一世線合のにせんとする解的なからとする解ある。 日本外交を 一世線 のことする解ある である

省 内 酒

日午後九時「ひかり」で潜京 宫

池宗墨氏) 池宗墨氏) 全務領事會議出席の為例谷安 内相、湯澤次官より直は勇退組知事の上京を 上京を求め

に之が補充に伴ふ知事動任級

器、金子法務各部長等は十三 中領経理、橋本歇崎、今井兵 中の経理、橋本歇崎、今井兵



業務擴張御挨拶

まして目下新荷到着中ですから何平御利用下さる樣物顧今般皆樣の御奬に依り金物類を取揃へ販賣致す事になりじます就ては從來瀨戶物專門に販賣致して居りましたが本店開業以來皆樣より格別の御愛顧を賜り誠に有難ら存 申上ます

世帶道具專門

電話 ②大路四〇七七

の大異動を断行、大體十七、の大異動を断行、大體十七、

日頃か漏くも十五日迄には正明ち勇退租年末による製動も調査を見る事となった。 対策時局に處し肚と信念の出来た優秀なる新進逸材を思切って拔擢する方針で知事動任初の移動範圍は約二十數府縣 园意

【東京関通】参謀本部支那課 の如く致令された 《蘇支那課長 永津大佐任命 佐比重

問題の重要意見交換せん

に來京

補參謀本部支那課長 永 津 佐

容態恢復

に登聴、掘内次官以下首腦部 各宮家に御禮訪問の後外務省 各宮家に御禮訪問の後外務省

と會見し大臣室に於て就任最 き地ヤマカミ ▼生花ヘルピンモスト

平型三分計 1 圓 3 0 鏡棒狀一分計 1 圓 5 0 錢 棒狀一分計 1 圓 5 0 錢 東京日本橋區本町四丁目 密賣元淺井合名會駐 次第早速御伺ひ致しま 御琴三味線 ・修理は三日間位にて 三味線張替 長唄稽古本 出來上ります 並附屬品一 版製

骨董 属路三二九〇番 よき牛乳

選び下さい。 大船町一ノ九(ダイヤギ

ますから値かのアタマ金さへあれ

民い品安い店 来一条通り

高なる御言葉を賜ひ午後一時温ぎ六将軍は感費に酬を輝春津の五中将に御陪食仰附けられたが、壁下には種々優時り注ぐ十三日正午南大將始め岩越、西尾、中村、外山族の五中將に對して御陪食仰附けられる旨仰出され事頭に東京國通』長き遷りでは前闢東軍司令官南大將以下凱(東京國通)長き遷りでは前闢東軍司令官南大將以下凱

旋六将軍に

張し我が國境確定の公正な主題をも同時に確定すべしと主題をも同時に確定すべしと主

御陪食の榮を賜る

(東京関通) ソ群兵の満り間 大使は十一日ストモニヤコ カ大使は十一日ストモニヤコ カルが、十二日午後左の朝 をしたが、十二日午後左の朝 をしたが、十二日午後左の朝 をしたが、十二日午後左の朝

聯政府依然誠意を缺く

外務群令 (東京國通)外務 東亜局第 東亜局第

外務幹令は十三

廣範圍に三り

東亜月な二

東亜局第一

3二世長事務取扱を命ず・粉事務官 佐藤 信太郎

に對

一人人 に對し消染関連 は建國以前においては現與安 の主權にあつたもので現在で の主權にあったもので現在で と は強に強國前の行政區劃の線 に はつて漢然と決められて る の直接交渉が續けられて るる

大師の警告

期に達し然もその抱懐せる主しては既に在任玉ヶ年間の長 有田外相訪問 コ大使

有田外相に會見ダーダネルス した 「東京國語」グレデ駐日トル ボスフオラス海峡非武装係項 の般栗鴻牒文を手交種々懇談 の般栗鴻牒文を手交種々懇談

に改正する事を企て、その都 脱すべく從來壓々小洋を大洋 に改正する事を企て、その都 度香港側の妨害にあつて實現に改正する事を企て、その都 會議 士三 戒免

官こなった に附せられた興安北省省長凌陞氏は懲日の閣議の結果、通ソ事件のため軍法

南米十七 或

▲ 小松枫枫氏(鐵工業)同安 本加藤彦一氏(會社員)同市 内へ 内へ

以下五十名 十三日午後內以下五十名 十三日午後內

人事往來

府からの正式受話書を登表し ・ 別来會觀閉機に腸する招請 がに對する中南米十七ケ國政 がに對する中南米十七ケ國政 がに對する中南米十七ケ國政 一、 豊務組私職員の一部を税 学は左の如くである 学は左の如くである 汎米會議招請受諾 満洲國へ出張を命ず 外務事務官 小 施 ・ ・ 施 彬 闘に編入し州総地方群私職 開の統一を聞る爲税職官制 中改正の件 二、鹽務署官制中改正の件 二、連務署官制中改正の件

忠

八事行敵の根本的刷新を企圖 先づ二・二六事件に於る警察局に處する政策鑑行の當内務 詮衡を開始する事になつたが【東京國通】制内相は非常時 | 澤文官を参謀として本格的に 近く第二次地方官異動發表 ▲小笠原論文氏(稀洲国官吏 同大連へ 神子勇氏(森労國官吏)同 神子勇氏(蔣学)同事夫 上野慶太郎氏(商業)同事夫 人上野慶太郎氏(商業)同事夫 大吉亦利氏(商業)同事夫 大吉亦利氏(商業)同事夫 大方亦利氏(商業)同事夫 大方亦利氏(商業)同事夫 ▲ 上西常次郎氏 (會社員) 同 連より 空往來

本張より 本張田すみ子氏(會社員)関 本天より 本所内孫太氏(實薬部)同 本所の孫太氏(質薬部)同 本所の孫太氏(質薬部)同

モルビネ中毒治療剤モ ルダイン権村契拠 昭和の羅生明(上)
の情に美女と道述になって五の情に美女と道述になって五の情に美女と道述になって五の情に美女と道述になって五の時に美女と道述になって五の時に美女と道述になって五の時に美女と道述になって五の時に美女と道述になって五の時の上で判形解した被

兵は國の大事にして死生の 地、存亡の道である。國運と 地、存亡の道である。國運と 地、存亡の道である。國運と 地域ならぬのはまさに明白で ある。國民の生命を弄ぶが加立され は深く書願の要がある。しか は深く書願の要がある。しか

何事に供らず此の一利那の機 「関語なる東邦元師が確か少 を与うるの外默裏言にして思 を与うるの外默裏言にして思 をか中佐の頃北洋水師の精鋭 の看破が武勝としての缺く ない中佐の頃北洋水師の構成

今日の日本は特星雲の如しで 美内には暗分立滅な人々も居 ちるるやふであるが非常時中 重に講開支那北支外巻西比利 一直大平洋電米利加等の方面に が動か飲けて居りはせぬか、

型 編分が少からず調を 編分が少からず調を のも事實だ。一體長

北南県民の大衛宗とでは、これでは無かつた、言は、中心では無かつた、言は、

(日 曜

ての遠近の國際 恐くわが民族的 悪くわが民族的

且又内訌絶へなかつたために 数に心酔して武事を顧みず、 物に心酔して武事を顧みず、

であるとも見ることが出れ、大部分が國内問題の大部分が國内問題の問題の

本 名ものなれば園民の理解は素 人しき或は誤解なきを保し難 と の かり は 変 の かり は 変 の かり は 変 で かり し が 百 数 の の かり 佐 で 政 図 の 頭 初 民 政 部 の かり 佐 で 政 で な が 一 に 非 さる べしと 雖 も 因 要 の かり 佐 で 政 前 に 事 念 し と 輩 も 因 要 の かり 佐 で 政 前 に 事 念 し と 輩 も 因 要 の かり 佐 で 政 前 は 実 を 要 する こ と 切 な る も の かり 佐 で 政 前 は 東 を 要 する こ と 切 な る も の かり 佐 で 政 前 は 東 を 要 する こ と 切 な る も の かり 佐 で 政 前 は 東 を 要 する こ と 切 な る も の かり 佐 で 政 前 は 末 を 要 する こ と 切 な る も の かり 佐 で 政 前 は 末 を 要 する こ と 切 な る も の かり 佐 で 政 前 は 東 を 定 か に する と 同 本 り し な に 事 業 に 任 命 と で は 幹 事 に 任 命 と で な に か す に た か ま な で か に す な ら と で な か に す な な に す な な に す な に す な に す な に す な な な に す な な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な な に す な な な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す

本に関する事業は汎く各部立に関する事業は汎く各部立に関するは勿論質質的にも支護を要するが過少に事の。 大臣の直轄下に置き名稱も一大臣の直轄下に置き名稱も一大臣の直轄下に置き名稱も一大臣の直轄下に置き名稱も一大臣の直轄下に置き名稱も一大臣の直轄下に置き名稱も一大臣の直轄下に置き名稱も一大臣の直轄下に置き名稱も一大臣の直轄下に置き名稱も一大臣の直轄下に置き名稱も一大臣の直轄下に置き名稱も一大臣の直轄下に置き名稱も一大臣の直轄下に置きる場所管業務の内容を明にするが、表示を表示を表示。

場からである。このとき、一的職機に外ならないとする

詹

見た。有有

重要なれ

得たるを以て同年十月以降地 得たるを以て同年十月以降地 育官制高等土地委員會官制及土 州審定法等を逐次上申康德三 十六日の國務會議同二月三日、三月 中一月二十二日、同三月四日 で了し同三月二十四日多議府の諮詢 を了し同三月二十六日公布施 を了し同三月二十六日公布施 を了し同三月二十六日公布施 を了し同三月二十六日公布施

地籍整理

土地制度の

確立は國策の基礎

土地主務者加

藤處長口

が大陸工作 の交 必要 說

注

視

0

的外蒙事

(三)

2 わ

外蒙の變遷と

しかもその土薬の上に強生し クリーゼの第三期に立ち入り を大主義體制のアルゲマイネ での第三期に立ち入り 作

曾有の程度に尖鋭化せしめる ・ト體制間の二重の對立を未 ・ト體制間の二重の對立を未 ・ト 外蒙一冊の諸族は統一され、 壁で歐亜二大陸にかけての覇 を全うしたが、明の勃興に よつて元朝もまた没落の運命 に遭遇し漢北の故地に退いた で、漢古を頻盛として登 場せる諸族は、元の末裔たる 場せる諸族は、元の末裔たる 場で、京南、漢北の覇權を掌 場で、京南、 領 魯特蒙 古)として後にこの二族を居 つてその支配族に歸せしめた が、明の治典に

外蒙侵略

一七五〇年全く清の版圖に入 力、伊型將軍の支配下におか 力、伊型將軍の支配下におか 力、伊型將軍の支配下におか 力、伊型將軍の支配下におか 力、伊型將軍の支配下におか 力、伊型將軍の支配下におか た、 一七五〇年全く清の版圖に入 た、 力、伊型將軍の支配下におか 力、伊型將軍の支配下におか た。

実の訴訟手續を中止すると 実の訴訟手續を中止すると 共の訴訟手續を中止すると 大院は査定の確定に至るを 大院は査定の確定に至るを 大院は査定の確定に至るを 大院は査定の確定に至るを 大院は一方であるときは 大学に関する規定は命令をよ

就では各科長 の得る迄疑い に参加協力せ 風ひして己生

現物 一、当50 11至60 爲 替 相 锡

新京取引所市況

手形交換高 (計日) が、本、二 三車

せ、三の五つ

一〇七、〇〇七、〇〇一高 一一高 一一高 90 4% 59

四、高等土地審定委員會官制土地權利の審定は以上の如く極めて公正慎重に行ふもく極めて公正慎重に行ふも、信時に利害關係人等にして不服ある場合之を敷置して不服ある場合之を敷置して不服ある場合之を敷置して表高法院長を調養のにして最高法院長を調養のにして最高法院長を調養とし推事其他を以て委員会とし推事其他を以て委員と 幅の協力を得らるるものと 整理とは天壌の差異あるも 整理とは天壌の差異あるも のなりと考べ人民よりも全 三、七地審定法 本法は地籍整理のは土地権 利の審定を爲すの手段を定めたるものにして融査審定 めたるものにして融査審定 をして整一迅速且つ慢重公 正を想せしめんとするもの たり倚審定の方針として七 地の権利に紛争なき限り地 地の権利に紛争なき限り地 地の権利となし又浮多 地の如きは原則として無償 を以て占有者の権利となり が参を交付する等凡て親切 地のを寄せざる如く十分注 でして、 を以て占有者の権利となり 地のを寄せざる如く十分注 は正に創業の は正に創業の は正に創業の は正に創業の 有機なり 有機なり 国下夫々起草 して制定を要して制定を要して制定を要 闘野又は附帶

四月三日後場)

金

市

况

年四月

四

壹樽二

付

金金

四四十五升計

壹樽二付

壹梅二

金壹圓

五拾

鈠

1スタリオリズ

商况欄

發明 前項但書の場合とを妨けす

の中断中止なる手續の練

せむ密得局為又本明

大連為

今之等官制並法令制定の趣旨

電話(3) 3161. (3) 4876港

を此の拍手に使りて慰めたと 云ふ程度のものであつたが、 老い 意楽家にして見れば此は てつきり自己の楽學にして見れば此は てつきり自己の楽学にして見れば此は でもで某中佐に化けで出て同じ様なことをやり變つたステージで太いバスで悲歌にとする をかつたけれど、世間では多 要が取激いてるとしか思はれな曲を では律しられぬとの評判である では律しられぬとの評判である では律しられるとの評判である。 官に付之を準

得別の

を指定して之を準用すると を指定して之を準用すると を指定して之を を指定して之

各地商品市況

各地特產市況

邦隣タイプライアンが教授 中前、午後、夜間 朝日通り八十一番地 線領事館前 問易宿泊所 タイピスト 電(3) 五六人四番

指 定 本店大連市對軍 胡 0

して四月五日より二十日迄春セ の好評を博し多數御來店下さい 五日間の開店五週年賣出しに豫想外 就きましては右御禮の意味を込め た事を厚く御禮申上ます シャラ り仕 まし K

油

滿大岡奉伊

何卒不相變御眷顧に預り度奉懇顧候為此むを得ず左記の通り四月拾五日より値上げ致候間が努力致來り候處其後一向値下りの模樣も無之斯くては到完好。 金御清豫奉賀上候陳者御承知の通り醬油味噌の主要 を **風不引合と相威候** を以て販賣せんと

E

値

春祭り 吉林デーと兼ねて

| 力心とを培ぶためには毎年| | つれが質現を闘るべく當地|

(八日林支局器) 當地猶人伽族 高沙、省を見れば観計五三、八 八〇名にして中滿人五三、八 八〇名にして中滿人五三、八 六四石で大多数を占めて居る が人、日を流くのは邦人七七名 の宿記である、然し前月に比 一、○二 着の宿泊 日の激減であるが治安の 思いが減少せるものと見 思が減少せるものと見 悪業別に見れば商業 の、職業別に見れば商業

鮮滿拓殖會社創立の

吉鐵一幅祉科の

女マ子生内2日合門 (吉林支局,四) 吉林鐵路局顧 証料に於ては日満女子從栗員 及びその家族の趣味凋鉴と家 爽物質の一助に費するため夫 の機蔵者を、雨節に聘し、洋 教、和裁並に二花の練習會を 関側することとなつたが、洋 によつて總督府では東上中の「政省議で決定せる豫事案が特」といれる。 一本格的移民事業を開ける最後的決定案をもたら から委員を設備して創立準備 年度より本格的移民事業を開事課長は鮮浦拓殖會社創立に 等出費關係の代表者並に軍部 補移植民の整理に止め明十二 「京城支局登」田中總督府外 各局長及び東拓、鮮銀、殖銀 びとなつた、なほ本年度は在 準備委員會設置

もこれに依つて漸く具體化すった、而して特望の市場會社定數の作成等を成すところあ

を開備、設起人代表の選任。 事者側に於ては十一日午後一局者の臨席の下に強起人績命の局者の臨席の下に強起人績命の

來吉者

近く各業者の整理 | 古林東局級|| 古林神社《務 充富する由

入學、素裝(各個

店主棚川震雄氏であるが同飯店は もので之れが經營者は もので之れが經營者は

治安確保ミ共に漸次減少す

今月の總計五三・八八〇名

歐洲觀光團 京城見學

姫舞の島半

北客約三百名を じめ獨逸その他

◎會員券…

二二 圓·三圓

〇主 催 …

崔承喜後援會

ロムビア専屬藝術家

後六時より開演まで

レコード

コンサート」開催

◎會場

樂劇場

4)

絶對日延な

電話加入受附

今井田總監のて委員を詮衡

験的に左配の通質施の計畫で 貨與筋所、 一物製刷と開絡せ 大きな條件とな 大きな條件とな 大きな條件とな

副業獎勵計

畫

概要に就いて

ては炭膿事務所に於て鉄植栽り) 新設線路附近に主としてり) 新設線路附近に主として

の壁はこの方面の副業も有空間費なるものに付き駱來増植

總貨製製 金與權以

四二七台五百百万

朝鮮鐵道局線の

北(朱乙)以南(震美、楊市)、(震美、楊市)、(

(新亭) 红

低やピール観のない家庭で中

もありこの非常時的活動は一 がら喜ばれてある

・御陽者様の

本に関して出來羊毛事業の收益 に関して出來羊毛事業の收益 ことを知らしめる點よりして を毛皮肉、肥料にのみ考へて も是非家庭型業として訪毛作 を毛皮肉、肥料にのみ考へて も是非家庭型業として訪毛作 でもと非家庭型業としてお毛作 でを計畫する 標定なるも其の 中扶論小學校上級生に紡毛作 を中心として一時間から を中心として一時間が を中心として一時に を中心として一手に を一手に を一

吉林市場會社設立案

關係當局者の斡旋奏功して

く軌道に乗る

3、林務関係編業 イ、イタテ教の利用加工は普遍的である即ち主として機製作なである即ち主として機製作な上石運搬用艦類製作に用ひら全用セットを製作しつ」あり全用セットを製作しつ」あり、上石運搬用艦類製作に用ひちる」のである、兼て植林用として女見河苗圃に三十四萬本の西側を有する故主として家庭用品製作の材料としては大を明報を有する故主として家庭用品製作の材料としては大 本試験場に依頼し管内適地調 査を行ひたる結果栽培可能な る事明瞭となりたるに付調業 過程を行びたる結果栽培可能な 一種の桑であつて内地の楽器 料並紙料として消費せられる もので河北省聚縣地方の特産 で同地方より減洲に輸入せら

担懐に参輝して欲しいとのこ り座瀬園一枚を携帯して虚心 り座瀬園一枚を携帯して虚心

吉林飯店

前より松花江の江岸道路に

るが、今回又も雷地に於ける 松江新聞社、松江ビル、補鮮 松江新聞社、松江ビル、補鮮 を なが、今回又も雷地に於ける 品評會盛大

一港の滿鐵委任

北鮮二 五月中に實理

北瀬産業の開

活躍!

=日満貿易の不便を一掃 京城國婦 (京城支局強) 創立日淺言京城國防衛人會の活動は目ざましきものがあるが今国同會では満洲第一線の皇軍將兵に賦置袋を贈ること」なりこれが實金造成のため會員は三々伍々分擔を決めてエブロンのユニホーム姿も甲斐々々しく各の時を車を挽きつ」各月から

明年一月一日新驛の景業開 車線路の敷設に

る、偽は新築工事は大體年共に電車を運轉する計畫で 現大連隊に至る路線橋は

近日中に移轉工事に満手

樂造と共に工事を余ぎ 社及び大連都市交通會計車

見ると前年度より城津管内の 十年度輸送成績 地均、線路改築、驛本屋のコ大連驛新築工事は窓々土工、大連驛新築工事は窓々土工、 大連驛新築工事 ト工事等一斉に着手 愈々着手さる

終末に於て本 右は熊總三

生産技術の熟練と生産量の増生産技術の概要と生産量の増

のは繩、品

や學げてゐるが同年度の貨物 ・ 學問の一○パーセント。京城、 ・ 學問の一○パーセント増 ・ 学議管内の一○パーセント増 ・ 学議管内の一○パーセント増 ・ 学議であるが同年度の貨物

個として三ヶ所各一個の豫定 脚業品評會を開催する豫定で 動る、開催地は管内の省を單 製工の翻菜獎勵計畫に對して

引好でも夫々市 十六日よりは其 **狭業務を開始す** 輸送練敷量は次の通り

四トン(六パーセント)合計・一五萬九千八百五十七キロトン(一三パーセント)連帶線入込み十萬八千六百二十四キスシス十萬八千六百二十四キ

込受理~開始

線の一滴一 美人を造る 薬効化粧水ノ







満洲における

す成がんる

楽してゐるのであり

體育問題に就可

にも論がのり毛髪もつやくなり、體付の線も整つて皮膚

い娘!

(血)(鼻)

その原因と手當法

サエッ 此部 鬼め

持ちかあれ

一九九九八女の四二〇三性〇〇〇〇四十日初

管絃

、鼻粘膜の弱い人

ゼ易

Va

いかにもつや!へ見せ、感もがはえて、顔の輪廓など

は人変だ

オーイ、探復君/

映畵劇

浪華悲歌

映畵

一社連中

京都より

溝口健二が原作演出する

ンを置きに行つた話なんだい、シャポンなどとけて無

なければ罪に訴へられるといふ様な不甲鍵ない父を持つてて居るからだつた。そして此質ではその金質もなし得ず層低されると釣捌や基會所に逃げてゐる情ない父だつた勝気なアヤ子は而し主人の誘惑をなアヤ子は而し主人の誘惑を

であった。だがアヤ子は他と結婚する願ひを捨て は進と結婚する願ひを捨て は進と結婚する願ひを捨て ることは出来なかった

義太夫

電話をもてり

加賀見山伯 錦繪(景局の段)

-

して現在やつてゐる職業

よろしいでせんなることのでは、 ないたは、 ないたは、 ないたは、 ないたは、 ないたは、 ないたは、 なることが、 なることが、 なることが、 なることが、 なることが、 なることが、 なることが、 なることが、 なることが、 ながれたが、 なることが、 なるとが、 なるが、 なるが、

きをとな出間、かがいしお

ですっている。はいっぱりはバラデクロール、ペンゾールなどの方がれて箱に目張りをします。防虫剤はナフタリーがはいったがは、カーのはバラデクロール、ペンゾールなどの方が、ドラスをかけて洋服タンスのおありの方は、洋服をたたんでパトロン紙につつみ箱に入れておきます。若しおありにないようにはいるのでは、

おきます

一二・〇〇 日用品催設 一二・〇〇 日用品催設 (大連市祝に引機く) 三・〇〇 ニュース (大連・引機を新京) 一二・三〇 極湊市祝 (大連・引機を新京)

戦しをします。 戦しいから時々補充します。かません洋服は次のシーズンまでそのまた洋服は次のシーズンまでそのまたが激しいから時々補充します。かったが激しいから時々補充します。からないできない。

(PS)

(栞の婦主)

な藏

0

でそれから出血を促す事もあをよくしないとのほせ易いの

駐 半杯のお

左記の時間には野球を中断する。三・三〇 経済市況 (東京)

一杯の砂糖と大きの様と書いているとき

「別に卵」 「かをほぐし

E 000

• 京東時七後 •

詩吟に漫談

早稻田野立教

ほとんど計がなくなる

刺戟が多過ぎる 心の綱をひきしめませる! ばごかく 御注意

共に、一面には、何となく。 筋肉が弛んだ様になつて、 て、象内に居ると胸がつ 春暖の候になると、何となく く郊外へでも出て、外氣にふれて見たい線な象内に居ると胸がつまス線な心持になりあて、一面には、何となく心が浮々した線になつ、動作に力がなくなると

ものらい様になり、

性的に てゐる少年小女 心持の様に、人やものにあこ かれる心地となつて來ます。 が下るにつれて、血液の循環 が下るにつれて、血液の循環 がよくなるといふ様な関係か ら、額色もつや (し、動作 も輕くて元氣に滿ち、また食 物の質や血行が變るところか ら、全身の新陳代謝が盛にな つて、體も肥え丸い處も更に 丸味をおびる様になつて來ま って、発も肥え丸い處も更に 満足ができない様になってと、 が一つ新しい生活に入つて見がしい生活に入つて見 性愛を事件が最も多く 神が興奮しがちで、心が動さり ます。温度が高いため人のを かい異奮しがちで、心が動さり を感ずる様になつて来ます。 を感ずる様になつて来ます。 で人生にも

が高まり胸舌しく、それであった。こつちりをは大類しい様な心持等が、こつちやになつて確がむがしますが、こつちやになって確がむがします。 私生兒

り人、なつかしい心持につけこ ので、女心の動揺し易いとこ が一紀えず吹いて居るのであり が一紀えず吹いて居るのであり りん、なつかしい心持につけことが一年中で最も多いのます。つま の用産の一番多

等 かっぱっぱい 男女が最も性的 ですった 大学に陥り易い季節は、春かけてであるといつて 上の缺陷の多い婦人などにヒ 上の缺陷の多い婦人などにヒ と なテリー症の發作を起すのも 性的緊張が充されない結果それが神經系へ反映するのであ に自分の容姿の美しさに醉は されて、心の綱をゆるめない 様に心がけることが肝腎であ さら捕ま

ふ事があります に暫く安靜

ります。 又婦

・ 又婦人の場合は便通 即つて出血する事があ は禁物でそれが 一番の行(をうなける)

ちら し壽司 **獻** 、立、

番組

五二五 無乗通報 香紙雅告 (京文) 六二五 無乗通報 香紙雅告 (京文) 六二二 敷府公報 (清舊) 八大二〇 今晚の香 (京文) 八大二〇 今晚の香 (清香)

五・〇〇 子供の時間(大阪)
野種太子

五・11〇コドモの新聞(東京) 大阪國史劇研究會

ジャブノ

清水元

四・五〇ニュース(英語)

吟爾濱友の

居田安子

题等二十**么、**醬油大匙二杯 鹽、大匙牛杯、味の素、干 鹽、大匙牛杯、味の素、干

引行さ 00°

= | 10:二五 家庭メゼロ (大連) | 10:二五 家庭メゼロ (大連) | 10:二五 経廣市況 (東京) | 10:三五 (東京) | 10:□五 (東京)

三

清市況 (東京) 大國と地獄 大國と地獄 大國と地獄

の段)

東京無線

加賀見山故郷の錦繪

ペレナのナポレオンだそうだ。 だが結局なんといつでもお湯 を一番好くのは日本人だ。子 ◆退風で仕業がないからお酒 屋の話でもしやう。お酒とい へばつまり鏡湯、式亭三島の 憶能れが發明したのだらう

看法板

※茶を茶道具。 おとり茶園へ

あんき

本人東談の事 本人東談の事 なん東談の事 カメラ 古品要買 古品要買 仲居さん入用 てつち生洲

速迅切一极取

方権校町三ノ三〇仲屋王合店 付高級優遇す素人でも可少年 付高級優遇す素人でも可少年 新規開業に 新規開業に

第四条一条 (3) 11三〇七 (3) 11三〇七 (3) 11三〇七

種田君と清水君が熱演 の似大義ながらつい在て来 の似大義ながらつい在て来 の似大義ながらつい在て来 の似大義ながらつい在で を行って、主の命令を得 となる、数解に云ひ付け を合うが、アン参れなら参りま を合う場つて来る勝三ない。 を合う場つて来る勝三ない。 を合う場つて来る勝三ない。 を合う場つて来る勝三ない。 を合うになるれなせぬか。 でいとは如何に女の主人なれ ばとて、主の命令を得 をなる、イエイイーの御

大阪西區北堀江上通一 澳岡商店

電貨賃 話即中金融 の変質は参加 かる質量は多額分

八八八四是

絶對に信頼しでその

特に女子の體育に關して(三)

ないと信じます、芽え出ずる 若草を自然に力強く育くまん が為には實に母の體育周治が 長も早くそして立派に之を成 とげられるものであります しとげられるものであります とであれて東洋に於ける女 発情の現狀を見まするに遺 様作らまだ/ 男子のそれに 地して洵に微々たるものがあ かます「時代の流れが女子體 のの動類を叫んでゐますが傳

とを皆様と共に反省致したい と思ひます。 と思ひます。 と思ひます。 で直してやつた等決して自婦 で話ではありません。 満州を 女子を持つ親は此の断自ら進 かで體育を探究すべき國民的 す、特に講洲の生活様式が解 人を不健康に導いており、體 験せざる體育的無智の愛が往 にして子女の一生に對する でして子女の一生に對する 日本内地に擦淡にやつ はありません。 満州を はありません。 満州を はありません。 満州を たことは大いに恥ずべ たことは大いに恥ずべ

而して確固たる自己の體育關 を樹立しなければなりません ・ 一優秀女洗選手の挫折は忽ち ・ 社會に被紋を書きしめる教育 ・ の動揺を来す現狀は社會全般 に未だに女子體育に對する一 を動でありますが、一方近 位が著しい向上を示してきま した事實を考え更に一歩進ん で社會的にもつと理解ある認 原に課せられました一大樂要 原に課せられました一大樂要 原に課せられました一大樂要

に動める に仄かな

脚原藤西夫海妹兄父ア 作 村才惣幸 電ヤ

不適を抱いてゐた。
を心抱いてゐたが態度に絕へ

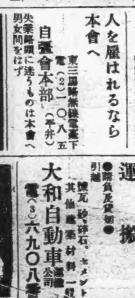
東京より

近日開店

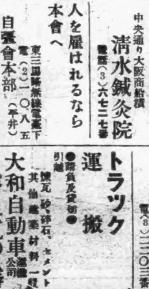
電影機会、電(3)大七〇〇 東京住立 英間部 調整 表 授 製町二丁目五ノ四銀ベンス前 神谷裁縫専修院 神谷裁縫専修院







科◆○宣行 一四 金八十號 一四 金八十號 一四 金八十號











一陽堂家院

第大五年の福山田一二八一六

▽ウチミ、クヂキ

第3-11至10人大黑屋

融

点が激化

土地館物會社

御室みのお方は







も行かればだめさ。何も を行かればだめさ。何も を行かればだめる。何も を行かればだめる。何も

とんな 「ほくだつてそれくらるの たが氏がいさ。そしてそのあん 「ほくだつてそれくらるの たがぼくを完氣づけでくれる で直 あの老人に類んだんだが、あ くあんたの力だけが頼りさ」 の老人の日振りはあんまり 墨 銭典史こうで又してるさ たたと つでくれまいて」 のでくれまいて」 のでくれまいて」

で、銭典史の雕で斯ら言ふので、銭典史の雕で斯ら言ふのであつた。

は奥史は部屋を出ると、や に 対 が た 動 が が そ の 気 型 か 祭 して で そ こ で 服 し を で 複 典 史 は 部屋 に 行 つ た っ た こ で 服 し か こ で ま ら 切 つ て る さ さ い と で ま ら 切 つ て る さ さ い と で は り 切 っ て る さ い と で は り か こ と い と で は り か こ で に す か こ に か ま ら し い か こ に か ま ら し い か こ に か ま ら し い か こ に か ま ら し い か こ で は り か こ に か ま ら し い か こ に か ま ら し い か こ に か ま ら し い か こ に か ま ら し い か こ に か ま ら し い か こ に か ま ら し い か こ に か ま ら し い か こ に か ま ら し い か こ に か ま ら し い か こ に か ま ら い に ま ら い

兄弟同然だ、ぼくは君のため してゐてくれ、ちよつと雷分 は不自由だらうがなんとかな

「乃至無老死 亦無老死盡」

春にそむいて観音か

ぼくはいやな顔をして、苦笑し腹懸書をとり出して見せた。

官場現形記

ぼくは負けることを好まな

般若

心

(HII)

鹽谷

たが考へる

「それば杖験しない方法」とは「それば杖験しない方法」と答べたのは、パナード・シと答べたのは、パナード・シと答べたのは、パナード・シと答べたのは、パナード・シと答べたのは、パナード・シーのがあぶれて居て、愉飯首が恐ければ就職が出来ないだろう。それに鴻洲である。 自分が静臓すべきことを罪のにない、 一日のかいだろう。それに鴻洲である。 自分が静臓すべきことを罪のにたる。

●說明書無代進呈

思ふに、これは生理的際物 をある。ぼくは髪の毛もよく 伸びるたちらしい。爪もよく 伸びるのだと思ふ。汗かきで も盛んに發生し、そして落ち たがつてゐるらしい。で、ぼ くはぼくに取つて不用となっ たものを旺んに、喫茶店のテ



頭垢を落す

音野町のバスの停留所の所に立つて居ると友人のNがやってきた、「やあ」とお互に 接換をするとすぐ吉野町の方

理由を訊れてみると、彼の理由を訊れてみると、彼の理事會を開いた。勿論、やつとのことで開いたのだからなことがなく、赤字を二萬とした理事の方では理事會へ計上した理事を知つてゐるのであるとして、あれはどうかと云ひ、結局××のたは完全にのされてしまつた。 ーん、首さ、人間の首がさあ るだろう、と云った。 ークビ? バスに乗るために側にきた りと云つてしまつた。そして一勿論、馘首さ ンサー風の女をちらつと見た

イ人と云ふのは「會計學と で居るよ。何分、一番エラ で居るよ。何分、一番エラ

本編州經濟情報(四月一日號) この牛月刊誌も大連中心から新京へと移るべきであら ら新京へと移るべきであら ら新京へと移るべきであら が、調査欄の「議州に於ける 諸人市商會の現 駅と 腎來 性」は合體論。資料欄に「新 性」は合體論。資料欄に「新 性」は合體論。資料欄に「新 性」は合體論。資料欄に「新 性」は合體論。資料欄に「新 性」は合體。資料間に「新 性」は合體。 質別工業地として 心。 一、新京の地位與倒」等

表棉丸

され

気かよく体す

ると

妻を受け

たと思ない

飛龍時代にある一穀質すべし以て逐年職選を

いまんじあり

田花房町山崎帝國堂

地画を含む)全部を練

上なし、

升

賞慾不扱の征服

賣捌

ぼくは彼に同情して答へた

を記により懸賞募集する事 作興を主題とする物語又は詩 ラン詔書煥酸を記念する為右

となった 「本質に銭の旦那は口がう 宣金 一等(一名)各五十圓 一等(一名)百圓、 日補文何れの文権で五月十日まで

實際あきれたものである。である。Nの言葉ではないが

田中を製御土伽製の宅生入裏フミナインは毛野の階組を促動し、その脱激及び変配を 数の階組を促動し、その脱激及び変配を

お前き●生え間の不依好●男女のるべき所にお前き●生え間の不依好●男女のもと対●は

順

碳製

1

クス略

伊東號支店

(3) 五 日 一 日 書

方型機能が入りでは、カーは、カーは、カーは、カーは、カーは、別様の形子二は、アー品がの形と …は概と云はイスクお用いあれ は代金を高へ 預

東京藥院

水京藥院

(メイヤ梅水栗町一丁目四 (八島通常人二軒目)

三括三一五九四七番

へ全國藥店に有り

NEXCONARY. 宇野助産婦 #任 產婆 宇 野

「呼吸器病の養生法」

ルトーゼル

調整

酒鉛

藥備常定指院病學大國帝各 食餌療法は結核療法中で最も重要なものであるがよりも之を征服であってものであるが最も多いのは色々をであってをであるが最も多いのは色々をであって、それも三十年であって、とが必要であって、まるに第一の障害はであるが最も多いのは悪であって、これも三十年である。

0 あるなる



與に應じて、とは生活の必要に適られて、書き散らす原稿でしても、まあ大してフケと う思ひ、ぼくはいま愕然としたのだ。 かけ、文章を書くことは幅 かけ、文章を書くことは幅 かけて別難であると人は言ふ。 されにしても、無明書とかよ がである。吹けば飛ぶやうなのである。吹けば飛ぶやうな を関係の気持とともに、自責の 気が强いのだ。自分が置いた での如きものであららか。フ 大の如きものであららか。フ

、君はどうだつたんた 春の陽光を落びて、二つの 首がころころと街の中をころ がつて行つた。 餘りい A 風景 ではない、ぼくは丁度、きた バスに乗つて、パラで入れて

有馬の怪猫浪花屋

鹽原多助

一枚八

十錢

出世の名刀

三千歳廓拔け

別れのおけさ 東数三

蓄 1 香 F コロムビス大衆盤 那

審音器像吹 製造量要尤 無式會社 日本 音音器修改器・器 ■小金新

男女とも

市場前)

國務院財政部御編纂 定價二個八十錢 **没料二十四艘**

貿易業者必備の好書 帝國の全貌を知るエンサイ・クロペデア 統計年報の最高峰

て赞言を俟たず。既刊篇は勿論今後鴻藏的に發刊さるゝ全議十省與安告省篇と共にる、豐富なる資料を基礎に編纂された本書の正確にして財産の指標たるべきこと敢本書は康總元年末地方制度改革により更新された各省政の概要を詳述せるものであ 逐次發刊 間東省、錦州省、熱河省、外蒙古各旗濱江省、奉天省、安東省、黑河省、三元

國務院總務廳情報處御編管

ちな文章を書いてしまっくは和田君の名随筆に

つけ的ひ

すると、脚の方から一人の すると、脚の方から一人の 育廣姿の青年がきた。それを 見ると「あゝ、きた、来た。 試育が一人來たよ」と云つて 、だや、失禮」と云つて、そ の男と一緒に吉野町の通りを

浪花節

REGAL

ガル四月の幸

QB 106

(日 曜 火)

○慢性モルヒネ中容症の症状と

る事を要望し、之を中断すれば劇烈なる禁斷症性モルヒネ塩類を毎日持續的に而も大量使用す慢性モルヒネ並に同類俱麻酔薬の中毒症の症状

母に就いて

ヘロイン、

阿片中

治

療劑

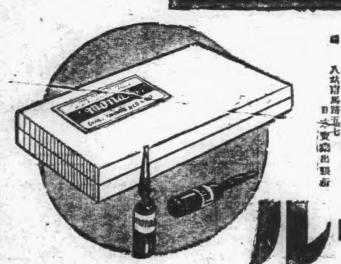
文 D

D 旦

福モナ

包 10管入 静 数 20管八 服 数 50管入 用 2,20 4,00 7,00 皮 3.30 下 5.80 16.00 13,00

教造元 順天堂醫化學研究所 大阪市東區道修町 大阪市東區道修町



門 大連市 漫画 大連市 漫連町 七丁目 安東縣市場連 高洲國及閩東州特約販賣店 間新聞放問 京日 京日本 書 新 日本 第 日本 第

機外科科

,目科業營

表新

兒玉

商店

1.

床

支店 ■(3)

二二九〇番

ンの秘訣には

新京曜町三丁目十5

三四九人

梅ヶ枝町三十目

○職モナールの作用と特徴 性しめ、 衆婆健康を著しく恢復せしむ。 書稿を緩解せしめ、モルヒネ塩類に過望せるものに對し安静、安眠を與へつゝ常用麻酔廳の注 が開放と用量を著しく微談せしめ自然にモルヒ 書稿を緩解せしめ、モルヒネ塩類に過望せるも である。 他方随停症状を緩解 がある。 他方随停症状を緩解

反張等の症狀を呈する亦は人のよく知る事なりかれ途には樂行、叫喚、宗嶽、意識劉嗣、後弓即ち最初は欠仲、陸量、食憨熱乏、嘔吐辱あら

○療法をして既に 異物化して、其の中電症狀を治癒せしむることに認過せしめ、體内に蓄積せるモルヒネ塩類を聽き禁順症狀の期間を長時間仰制し可及的安静

(並泊宿易簡)

品取目扱

●專屬荷扱所 東屬荷扱所 東京事務所 電二一三三 春岡六二五 (3) 話 體

本

資本金 新京室町四丁目四番一億圓 (全排込濟)

東京市日本橋區鐵町二丁目一番地

池皮

科科科

同

教育士丁二丁目一大

0

橋本日

新京文 方

積本金金

横濱正金銀石一億個全額排込濟

(適康症) 急性。慢性淋病・膀胱炎・尿道炎・精過等するも胃腸障害又は腎臓刺戟を起さず淋菌を滅殺し尿を清澄ならしむ、持糖服用 陸軍藥局方收載 社會資合藥製才木 元東股位襲 每丁二根戶江區網本日申末 · 卷七一三線本日底機

電(3四七四三 (ました) 電子 報報 武者人 陳列即賣會 本橋通 平 日本 3 三洋

千代田のの

實高 用級

Ø

新形

料理の作戦は主婦の務め

棄て、水洗ひして置き、鍋に湯 分間も茹で、取出し直にアク を沸かして戦を入れ、二三十 す。それをよく水洗してア 水に浸け、中日程も置きま と質者になってアクが抜けま 沈し去り、

富士自轉車 は ……同和自轉車商會 八島道(西公園前)

ナナオラ テレビアン・ベントー ナヨシナル 00 AE 四級四七、〇〇 OO . E. 14, 00 14, 00

味の化 飛 ばせ!! 味の素本質

版の根本の破い處を手で折り 蔵のアクの城方 金總監等

月曜であり、しずを発動はは何と

行日本へ

県を叩いてゐる ・ 日勝り汽車被行にドライ

の毎年最村實際調査銀行を行って活躍すべき単生に對し地

地方農村へ

大同學院學生

のに快諾を得っつい のに快諾を得っつい が開東軍に稻村新聞 が開東軍に稻村新聞 のに快諾を得っつい

に着々

百花燎爛 賑ふ國 ※※※公會堂に活氣來復 小唄勝太郎、廣澤虎造を始め 演藝界 色模樣 XXXXXXXXXXX

、大孤山、大連、奉天石(農村調査)撫順・安石(農村調査)撫順・安 西公園内實店の入札は十三日 生れた本年は昨年の不評判に こりて地方事務所でも費店の 取締りを嚴重にすることにな つたのでそのせいもあつて入 札希望者は質店五名で全く無 野町のところ五名の希望者が 新可のところ五名の希望者が

新舊警備司令官更迭宴

山口獨司令官

の更迭披露宴

日午前新京録列車で北を招待して懇談

猪苗代署長

きのふ初巡視

入札決定 0 見山、左山口の雨少静) (寫眞右小

四公園賣店

・ 本地主務者會議第一日は開會 ・ 本地主務者會議第一日は開會 ・ 本語、 本語、 一日は開會 ・ 本語、 一日は事業 ・ 本語、 一月は開會 ・ 本語、 一日は開會 ・ 本語、 一日は開會 本来個大使 十六日午後九時新京着、十十六日午前新京神社、忠霊塔 に参拝したる後皇帝陛下に 定事權の総整會に臨む 大使主催の総整會に臨む 大使主催の総整會に臨む 行はれる筈である 土地主務者會議

中華學校で 排日教科書

使用 を発見 (神戸園逝) 我國在留中惠民 (神戸園逝) 我國在留中惠民 個人の初等、中等教育用教科 書は大部分本國からの総入書 書は大部分本國からの総入書 書は大部分本國からの総入書 音味を行つてゐるものが勝からずあるので内務省の方針に 多ずあるので内務省の方針に 多ずあるので内務省の方針に まき神戸、長崎・横西・大阪等 大月の新京附屬地内に設生した各種傳染病は痘瘡十五名を 筆頭に猩紅熱六名、鶴チブス 三名、赤痢二名、デフテリヤ 小見山司令官

新任新京警備司令官に申告並 に赴き補田軍司令官に申告並 に赴き補田軍司令官に申告並 に新任挨拶

帝一

兩鐵々道部奉

奉天鐵路局は錦州

大野球職は降雨のため十五日 大野球職は降雨のため十五日 十五日に延期 回戦

御料理 高さやき 高さやき まに強

二時

7

ちゃきの期節できまれるというと

九時华 時华

N

皮膚·花柳病科 醫院 與安大路 雪(2)=七〇ヶ番

本日軍司令官

皇法電療所

滿洲舞踏教師協會 春季大デモス

五. オル

ション

工學院入學式整る 工學院入學式整る

學理的 (スかさや内) (スかさや内) (スかさや内)

室に收容入學式を奉行した

三月の傳染病

少々減る

C

日終る

新任の新京署長猪苗代さんがきのふ午後三時ごろひよつごもが別事部補一人離行して西二條嚴量所に現は4被いて日本橋通り骶出所等の初巡視をなし三時十五分ごろ本署に引続けた は面目を一新するであらう。 大日本麻雀雕塑 新京ダイヤ街(天平西人) 電話(3) 三七二二個

0 线 7 3 5 3

3

二九七三番

XXXXXXXXXXXXXXXX

綜合体育館建設委員 着々運動進む 稻村新聞班長も顧問受諾

新京署執行係では最近夜間無 多く從つて交通事故が激増し で来るのでこれが確防のため 口るものと見られてゐる 無燈火自動車 機學らる 各葉要派出所員をして十二日 年後七時から同九時まで諸車 年後七時から同九時まで諸車 工一件へらちバス會社五台 東十二件へらちバス會社五台

を本となった、然し省日は日 曜である賞め刑事訴訟法の規 曜である賞め刑事訴訟法の規

記集少佐を訪問 引つづき兵事部 引ってき兵事部

日学監慎中だつたが、 & 本本 一 「大遠圓通」 見玉事件のヒロ の刑期を大連撤前屯刑務所で の刑期を大連撤前屯刑務所で

館建設につき

問。題。の。勝。美

刑期満ち

一本社員用とする事に決定し目下が電現すれば今秋九月鐵務局 の新騰者が完成するので之と 同時に鐵道湖構の統一を一等 決定した

りと詰かけりのと単方や一

贈られた花い

大達廳長の

社員募集廣告

募集人

員

名

應募者資格

るるが、十三日神戸市中山手で右排日教科書を使用の事質を愛見したので管理者並に校長に警告を與へ教科書の任意とはしめたが三百般の事質をである。 科書の一緒を期する事となつ

長途の旅に

阜新縣附近で

就任 披露招宴 大達國務院總務廳長 は来る 大達國務院總務廳長 は来る 大達國務院總務廳長 は来る 特し就任披露宴を催すことと なつた、當夜は敵府側簡任官 なつた、當夜は敵府側簡任官

を代表して感謝の歌を代表して感謝の歌の響頭で代表という。 は出迎への人々には出迎への人々に 教作城南方五満里の地監に 教作城南方五満里の地監に

を官邸に报特證別の宴を張つより官邸に大野前馴東局總長

C

洲鑛業開發株式會社

大野氏送別宴

募

手

氷上代表選手

一行

人に歸

立屯の兩地より日本軍警備職
永久他三頭目の引率する匪脱
秋久他三頭目の引率する匪脱
が一百名集結との親に接し補
制國軍第三十九團は急遽討伐
制國軍第三十九團は急遽討伐

新京神社南程

だが、コースとしては一番が自然に対しては一番がある上機能なるに関しては、近郊洋草加ぶるに山と水、近郊洋草加ぶる幹職、鵜縛には、近郊洋河では新京人の日時かがラースとしては一番が、近郊洋

が奪還直ちに錦州臀院に拉致さ

右殿碣に於る彼我 三一三二 十名名名

をもつてゴムマットに敷きか 機したので今間工物的一千間 新京記念公會室の興堂内派路 公會堂內改飾

機風景な新京にこれはまた風 一地區二十年一定料金で種子 一地區二十年一定料金で種子 一地區二十年一定料金で種子 一地區二十年一定料金で種子 一地區二十年一定料金で種子 に興安大路の西端力行慶場で 一地區二十年一定料金で種子 に興安大路の西端力行慶場で です花や野菜は食員のものと いよ顔る文化的なやり方で去 いよ顔る文化的なやり方で去 いよ顔る文化的なやり方で去 いよ顔る文化的なやり方で去

本ング、コースとしては南 特別が一般、電域子等の最終通り を整点を遠認しつつ南端へ近 で変には一下に緩神事中来で、 ででは、電域子等の最終通りも を連続でがたいものがある。 を表してがたいものがある。 を表しているがな丘陵 ででは、マルスリング附近 では、電域子等の最終通りも を表現してできた。 ででは、マルスリング附近 では、では、アルスリング附近が、では、アルスリングが では、では、アルスリング附近が、では、アルスリングのは、アルスリングのは、アルスリングのは、アルスリングのは、アルスリングのは、アルスに、アルスとして、ア

京へ立寄るが、南土駐白大使は近く相当

兩大使入京豫定 村来男氏は過日日本代表スケート・選手としてガルミッシュに於て活躍したが近日中に河村氏を新草へ相替し歐洲遠征 に関する座装倉も開催する事 選手座談會

ル行學園の 田園クラブ奪員



टे

引受致しますハ十名標施

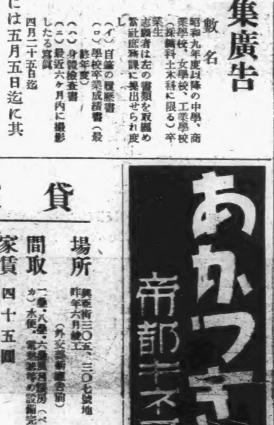
機() は (3)

和三側より四個五十 宴會サー 特選なべ料理 春を迎へ

家賃 間取 御希望の方は 電話(2) 一六六八番へ (外交器新疆會前) 五圓

場所 作年六月號工、三〇七號地 カン水便、電熱器等の設備完全一・量・八量・六量県西護房(ペチ

貨



かつて、まるで城床みたいに交際

だが脚部人の原志だはりなるものだが脚部人の原志だはりなるもの

大阪市東區市人大阪町二丁目

村製劑所

便一七日半分 三面 十三日分 五国 東 五 日分 二国 十三日分 五国

機の収欠さまの歌から、歴校へ建なければ側兄妹もなく。當時、鞭

てお気の散な身の上で、脚脈動もどの奥人だつたけれど、それであ

さんはだん くれいをきめられ、

力で、窓時、脈縦でも脳がれたほ

門田

すが、そのクラスに、この脳崎崎

高順でも分るやうに、太便美しいな子さんといふかがゐてれ。この

紙理ではなかったでせう。しかしの間に異常をつけにくかつたのも

さっかうしてゐるうちに、事べい

がにある女明院に融つてゐたので

とちらも秀才で、歌風歌でい面目とちらも秀才で、歌風歌でい面目

な情報だつたものだから、お二人

理

はつくと話をつよけた。 ちらといふこともなしに、お二人とした、第十子さんはどちらがど

鬼な秀才で、いつもクラスで 二一一なものだつたけれど、二人とも大 なつたのね。まるで兄弟のやうだ を即つてゐたのです。それが、か 、一般地されてあたくらるなの

帰尾夫人は、その登時のことを 『帰が子さんも、これには大蛇 で楽たる やらに思へた。 い電域を、観察することが出来るし そして母の言葉を行つまでもな 事情がのみ込め

を

いふものは、クラス中のものからいふものは、クラス中のものから 配がさんのおびさんと、保証格配でも知れるとほり、 人も知つてのとほり有名なお金特のです。それも、保科さんの方は の息子さんだのに、一般治さんの る観點だつた 土 観代はだんく

なましがられるく

一丁門集をきると、さら難しげ 保料さんと微水さんが、扇時に、 四人とも一番幸福な時代でした。 ところが、それから聞もなく、続

小探覧を 施屋夫人は、さういひながら 技》 師山 紫水 雨



た表面の原料さんを紹介するとい

ふわけで、いつの間にでら、南水

れにこのわなしと四人がまるで見

ひすることになったのね。

をしてゐたのですが、この都々子 に をしてゐたのですが、この都々子 に をしてゐたのですが、この都々子 に

ながの上でもあるし

三一出日

関の滅び行く現象を視る事が出来る 自家尿道洗滌の危險

服薬後に日を追ふて働いる場合の機会を行ぶのを扱いる場合を行ぶのを表も確實に観み

本来の提擇を概るな
この機当は軍味の自動油が中ベルサム球等の及
配位では充分に目的は適せられぬ之等の場合和五日の連用するも容能に悪化なく不相
の特合和五日の連用するも容能に悪化なく不相
の特合和五日の連用にて早くも薬が習慣性と
なり後は何日連用するも容能に悪化なく不相
の特徴の数値へ輸出数分であった今日リペールが
を加賞に物語のへ輸出数分であった今日リペールが
と加賞に物語のへ輸出数分であった今日リペールが
を加賞に物語のへ輸出数分である。、 は しつゝあつた 飲苗 と しつゝあった 飲苗 は 服 を 世 の の 数 商 は 限 に 由 っ に し の と の に は の に は の に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に に に 。 。 。 に 。 に 。



粉京日本樹語 (秋林単行助人)

富

士

自

車

は

同和自轉車商會

后 器學士 歯

頻京日本側巡り七八(電影院前)

安利聯聯

お科亀 ·院 e 法院

の田歯科を 版 院

本院一選萊町一丁目 松崎遊科 四川(四)四 医院院 部署名齒科醫院案內

京外等でいるとのが政権 歯科学 冷

不標度有取録「聽通」結果

松尾曲科医 医院

們京八島通り三八(福加藤収場前)

施科菱刈

清水选科医院

称を校町三ノ大へ入島小學校正門輸入) 萩原幽科 古知歯科医 古知師品

る葡萄酒だ に蓄へてゐ 力!を豊富

身につけよ 飲 てこの力を め! そし

> ないのです!

> > 酒萄葡る賜を狀獎推御りよ

こ カ の と 簡を果*の て ル ● しの 糖 り 最 * 身り 体 ・ ち シ の て 構 ・ 面 を 優 ・ 体 ・ か ウ は 本 成 : 血 が 高 で の と 本 ・ 飲 ・ 飲 ・ 素 * 骨 ら と ・ ネ 主成が本品が本品が

士博學醫 十五 威權諸の界醫

話三一四 九〇番

島通(阿公開前)輩3三〇六五・六五六二番 化衆大。話電內室 現出の機能電上卓型『新最 特本 合 局提價高 手帶格尚 2 自低個 庭工帳座 向場場數 不 要由康美 デラと機 換交 散私 話電の 穀一 他 の其 いざ下 話電 御へ店 弊非 是 は用 御のま